



+αが大事

こどもたちに始業式で、来年度に向けた準備としてできるようになってほしい3つをお話しました。

- 1 明るく爽やかなあいさつができること
- 2 「だいじ」を守ってそうじができること
だ：だまって
い：いっしょけんめい
じ：じかんいっぱい
- 3 人の話を目で聴くことができること

【あいさつについて】

朝、玄関であいさつをしていると、歩きながら「おはようございます」、立ち止まって「おはようございます」、帽子も取って「おはようございます」などいろいろなあいさつに出会います。声の大きさや言い方にもいろいろあるのですが、私があいさつの中で最もうれしいのは「にっこり」笑顔でのあいさつです。

これは、わたしだけでなく皆さんも同じなのではないでしょうか？どんなあいさつでも笑顔のないあいさつでは心が通じあいません。あいさつは人と人をつなぐ入り口ですから、あいさつしたかどうかは問題なのではなく、どのようにしたかが問題だと思うのです。

（もちろんあいさつすらしない、できないのは問題外です！）人と人がつながる入り口だ

からこそあいさつ+笑顔が大切なのです。

さて、笑顔であいさつが大切なことについて述べてきましたが、ではどのようにこどもたちを笑顔にするかということが問題です。わたしたちの羽合小学校のこどもたちは純朴で素直ですから、心の中が表情に表れます。表情は心を写す鏡なのです。

こどもたちには今朝の全校朝会で「笑顔」が大事だというお話はしましたが、それだけでみんながにっこりあいさつできるようにはなりません。教職員も保護者の皆さんも笑顔を心がけるなど接し方は大切です。よろしく願います。

しかし、わたしたち教職員が何よりも取り組まなければならないのは、こどもたちが安心して、楽しく学習や生活に取り組むことの出来る学校、学級、人間関係作りです。わかる、できる授業の創造です。今年も頑張りたいと思います。

また、ご家庭でも同様に明るく和やかな環境作りにご協力をいただければと思います。どうぞよろしくお願いします。

家庭や地域や学校が、こどもたちの笑顔で溢れる3学期にしたいものです。よろしくお願いします。気になること、お気づきの点などありましたらお知らせ下さい。

【あっという間の】

今日は1月14日、1月も半ばを迎えました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」などと、年明けの日にちの過ぎる速さを表現することがありますが、まさにそのような感じです。年度の締めくくり、しっかり取り組みたいと思います。

羽合小学校 寺谷英則